

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

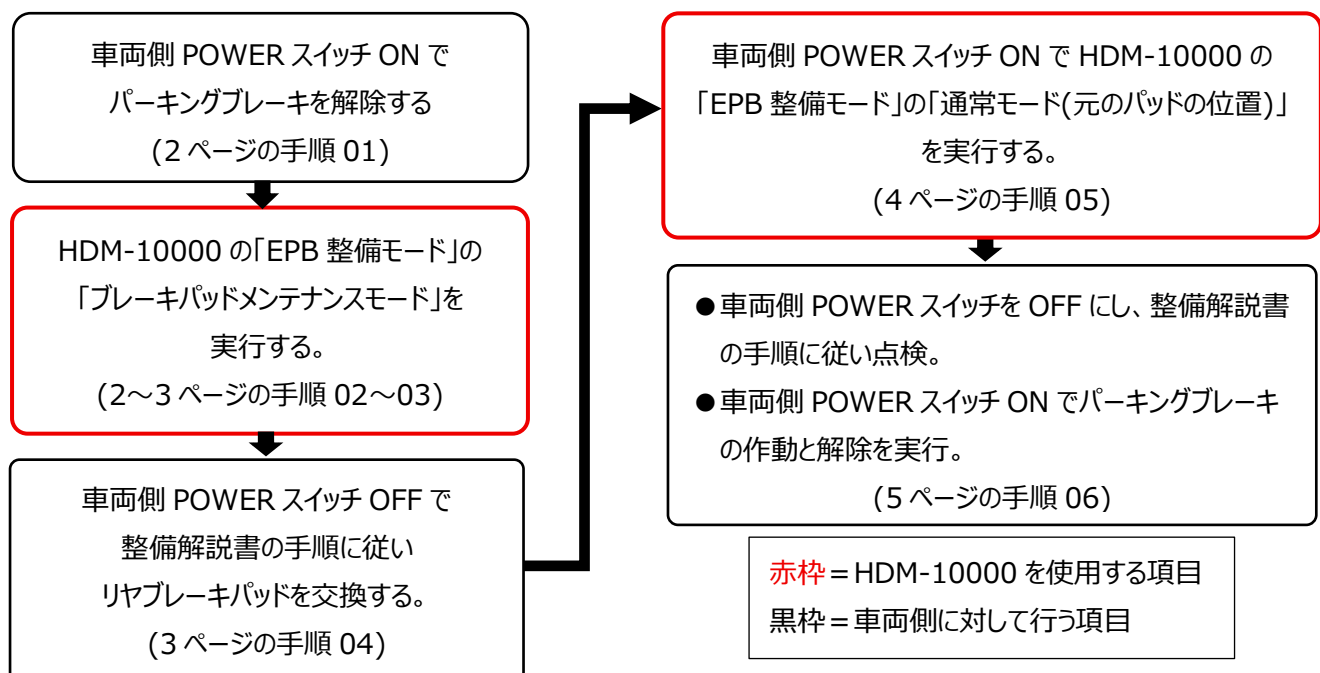
ホンダ/EPB 整備モードの活用によるリヤブレーキパッド交換 (アコード/CV3 での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1. EPB 整備モードについて

- 電動パーキングブレーキを採用しているホンダ車ではリヤブレーキパッドの交換を行う際、スキャンツールの作業サポート「電動パーキングブレーキメンテナンスモード」を使用します。
- HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」にある「EPB 整備モード」を選択すると「電動パーキングブレーキメンテナンスモード」各種機能に直接アクセスでき、通常のホンダ診断ソフト ⇒ 作業サポート選択 ⇒ システム選択 ⇒ 機能の選択の操作を省略することが可能です。
- 本書ではアコード(CV3)での操作例を紹介します。
- アコードで「EPB 整備モード」を使用した電動パーキングブレーキのリヤブレーキパッド交換の手順は以下となります。

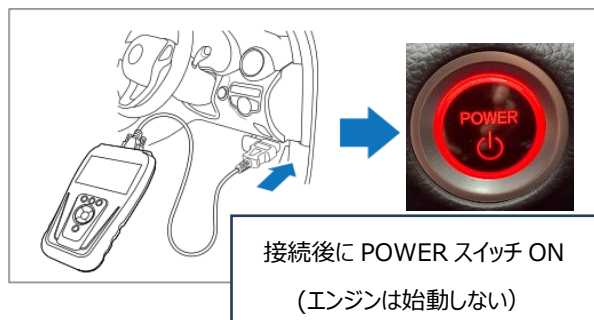


(次ページに続きます)

2.HDM-10000 用ホンダ診断ソフトの「EPB 整備モード」の操作手順

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にして、次にパーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキを解除してください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 02:メンテナンスモード⇒EPB 整備モード⇒電子制御パーキングブレーキメンテナンスモード起動まで】

- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「ホンダ/アキュラ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「しばらくお待ちください」、「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください」、「車体番号を取得しています」の順番で画面にメッセージが表示されたあと「エンジンタイプ選択」が表示されます。接続している車両に該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。「車両システム確認中・・・しばらくお待ちください」のメッセージが表示されたあと「EPB 整備モード」の機能選択画面が表示されます。



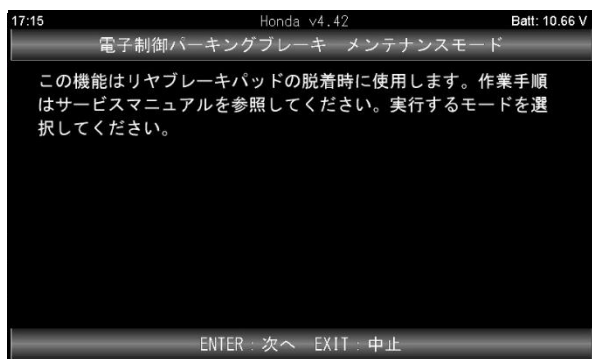
(次ページに続きます)

【手順 03:EPB 整備モード/ブレーキパッドメンテナンスモードの実行】

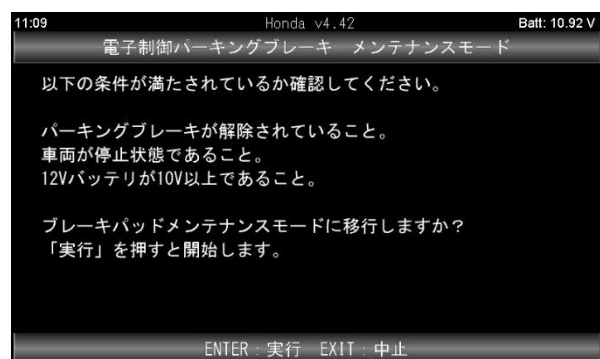
- ①「EPB 整備モード」の機能選択画面で「電子制御パーキングブレーキメンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。



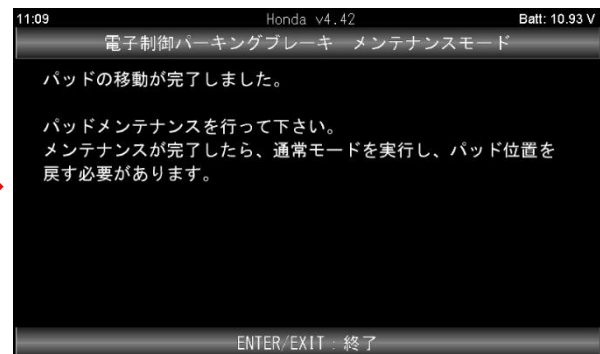
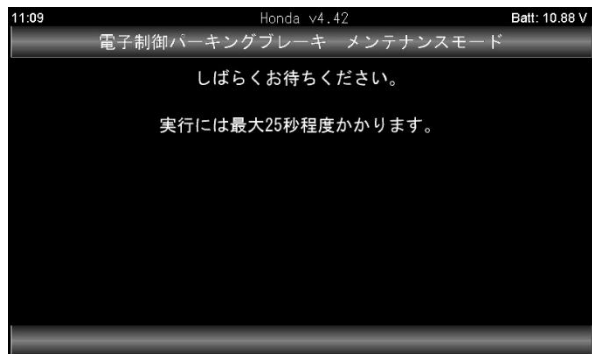
- ②機能の説明画面が表示されます。内容を確認したら ENTER キーを押してください。次に機能選択画面が表示されたら「ブレーキパッドメンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③右の画面が表示されます。表示内容を確認したら ENTER キーを押してください。



- ④「しばらくお待ちください。実行には最大 25 秒程度かかります。」のメッセージが表示されたあと「パッドの移動が完了しました。」が表示されたら車両側がブレーキパッドメンテナンスモードに移行しております。ENTER キーを押して上記②の機能選択画面に戻してから手順 04 に進みます。



【手順 04:リヤブレーキパッド交換の実施】

- ①車両側 POWER スイッチを ON⇒OFF にしてください。
- ②整備解説書に記載された作業手順に従いリヤブレーキパッドの交換を行ってください。

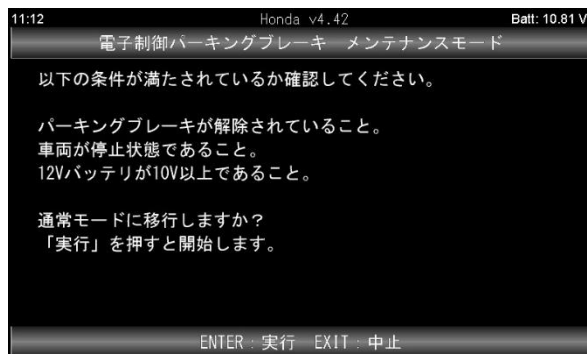
(次ページに続きます)

【手順 05: EPB 整備モード/通常モード(元のパッド位置)の実行】

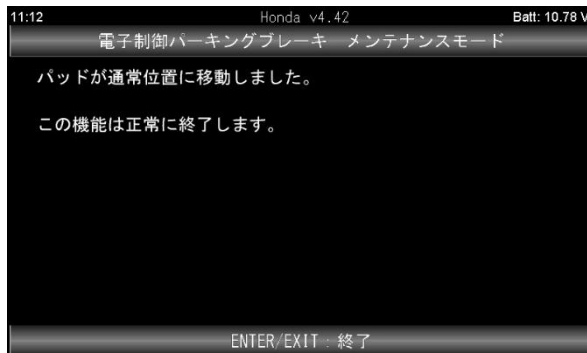
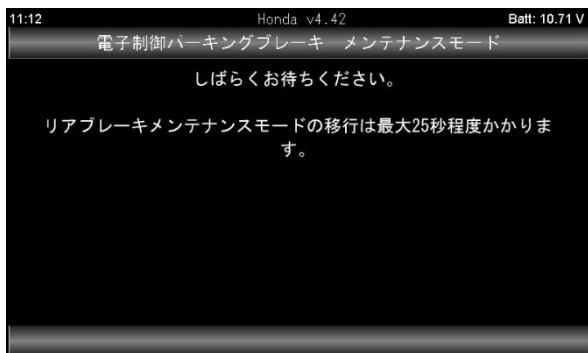
- ①リヤブレーキパッドの交換が完了したら車両側 POWER スイッチを OFF⇒ON にしてください。
- ②機能選択画面で「通常モード(元のパッド位置)」を選択して ENTER キーを押してください。



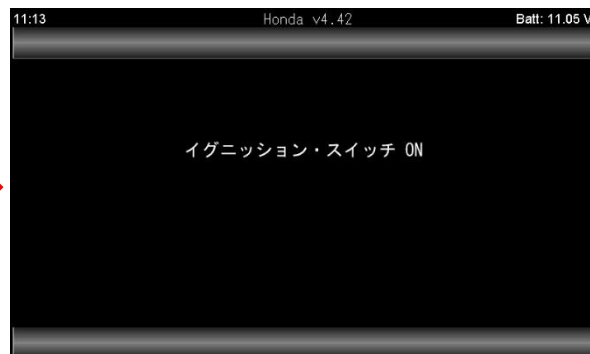
- ③右の画面が表示されます。表示内容を確認したら ENTER キーを押してください。



- ④「しばらくお待ちください。リヤブレーキメンテナンスモードの移行には最大 25 秒程度かかります。」のメッセージが表示されたあと「パッドが通常位置に移動しました。」が表示されたら ENTER キーを押してください。



- ⑤「イグニッション・スイッチ OFF」のメッセージが表示されたら車両側 POWER スイッチを OFF にしてください。「約 5 秒待ってください・・・」のメッセージに続いて「イグニッション・スイッチ ON」のメッセージが表示されたら車両側 POWER スイッチを ON にしてください(上記②の画面に戻ります)。手順 06 に進みます。



(次ページに続きます)

【手順 06:車両側の点検】

- ①車両側 POWER スイッチを ON⇒OFF にしてください。
- ②整備解説書に記載された作業手順に従い点検を行ってください。
- ③パーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキの作動と解除を行い、パーキングブレーキの自動調整を行ってください。

(2026.01.30 発行)